

TOYO ELECTRIC CORPORATION



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード: 6655

第82期 報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

CONTENTS

- 1 トップインタビュー
社員の働き甲斐から
成長を実感できる企業へ、
私たちは改革の手を緩めません。
- 3 セグメント別概況
- 6 トピックス
- 7 連結決算概要
- 9 社員インタビュー
- 10 会社概要／株式状況



日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

第82期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)を終了しましたので、ここに謹んでご報告をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大と度重なる緊急事態宣言により、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。東洋電機グループは、対面での営業活動が制約を受ける中、一丸となって事業活動に邁進しましたが、機会損失に近い影響を経験し、誠に不本意な1年となりました。現在、当社は3年からの中期経営計画をスタートさせました。引き続き全力で株主の皆様のご期待に応えていく所存です。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

代表取締役 **松尾 昇光**

社員の働き甲斐から成長 私たちは改革の手を緩め

Q1

コロナ禍が長期化しています。
東洋電機への影響はいかがでしたか。

売上ではそれなりに頑張ったものの、利益面の落ち込みが激しくなっています。理由の多くは東洋電機本体の低迷によるものですが、関係会社である東洋樹脂、東洋電機ファシリティーサービス、東洋板金製造の3社が健闘し、南京華洋電気有限公司、タイトーヨーの海外2社も一定の貢献をしました。

対面営業ができなくなったことが一番のマイナス要因でした。WEB会議システムの活用も行いましたが、お客様が関心を示す提案をどこまでできたのか、課題も残っています。

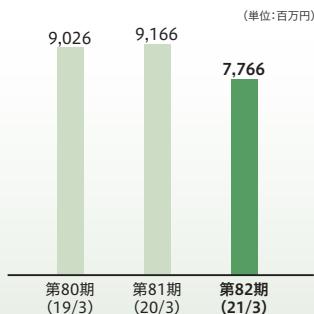
Q2

事業によって明暗がくっきり
分かれたということでしょうか。

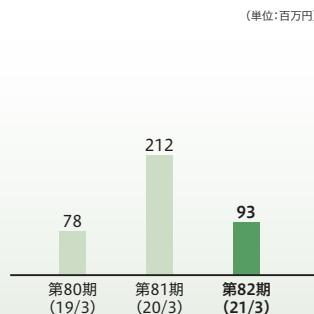
国内制御装置関連事業は、エンジニアリング部門が、コロナ禍の巣ごもり需要から物流各社の設備投資が順調で、搬送制御システムが好調を続きました。人手不足とコロナ禍により、省人化ニーズに加えて非接触の改良需要も生まれています。機器部門は、受注したものの先送りが目立

連結決算ハイライト

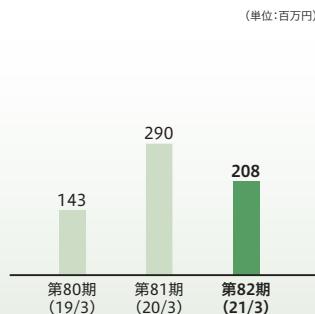
■ 売上高



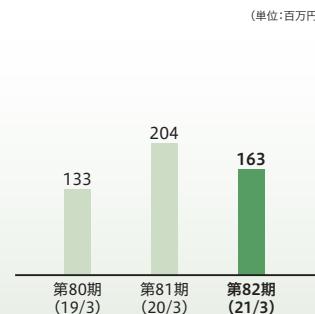
■ 営業利益



■ 経常利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



を実感できる企業へ、 ません。

ち、立ち直りの機会をつかめぬ状況です。変圧器部門も主力の乾式変圧器が工場などの建設が減少し、苦しい展開となりました。

日系企業との取引が多い南京華洋電気有限公司は、日本の技術者が現地に入らず、せつかく受注した仕事がローカルメーカーに移行する動きもありました。タイトーヨーはタイ国内の自動車関連業界がよくないものの、全体では一進一退です。ただし、黒字化は達成しました。

Q3

**立て直しが急務となっています。
どのような対策を打ち出そうとされていますか。**

当社の場合、メーカーからの発注が大半を占めており、市場の回復よりもワンステップ遅れる傾向があります。“待ちの姿勢”ではさらに回復が遅れる可能性もあり、仕事を積極的に取りに行く姿勢が求められます。

この数年、全方位で広く攻めようと考え、デバイスソリューション部門を設けるなど試みましたが、コロナ禍を経て、いま一度経営資源の集中を図り、組織のスリム化と効率化を進めています。

4月1日には、変圧器部門の製造部と技術部を統合し、経営管理本部企画部の企画課を廃止しました。また、各部門・本部をまたがる異動を活発に行うなど、人事の交流も進めています。今後は既存の3部門とR&Dセン

ター、マーケティング室、SDGs推進室が連携し、営業・開発・製造の連携を強化します。

Q4

**コロナ後を踏まえ、
新しい動きも加速していますね。**

当社は堅実な社風の会社ですが、現状維持では生き残れません。昨年、社員にアンケートを行ったところ、危機意識を共有する声が多く寄せられ、「人財育成を継続して成長の継続を目指す」という回答が一番多く寄せられました。

経営陣もこうした声に真摯に応えるべく、今年の「**全社統括方針**」では、1)SDGs経営ビジョンの実現に挑む、2)技術の見える化を推進し、「東洋ブランド」を技術継承に活用する、3)親身になって人財育成に取り組み、一人ひとりが成長を実感できる会社を目指す、4)お客様に喜ばれる新製品を年間6製品提供する、の4つを掲げました。

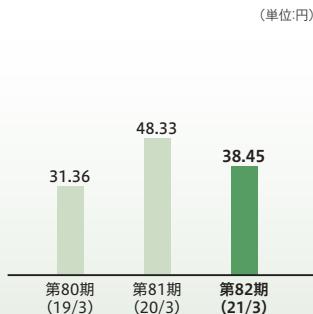
これまで毎年中期経営計画を見直してきたのですが、本年から3年の目標に改め、結果を出すまでやり抜く決意を明らかにしています。

企業の資産は、“ヒト・モノ・カネ”とされますが、ヒト=人財が最も大切だと私は考えています。東洋電機の基盤とされる技術力を、下支えてきたのは一にも二にも人財です。一人ひとりの社員が目標をもって、笑顔で働けるよう、経営者としての責任を果たしていきたいと考えています。

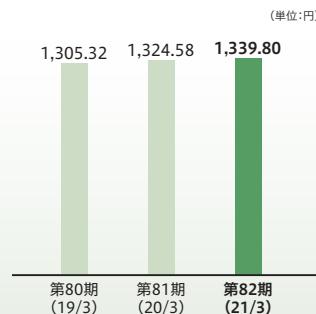


連結決算ハイライト

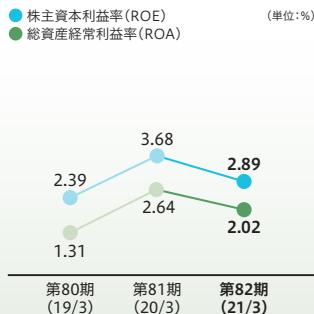
■ 1株当たり当期純利益



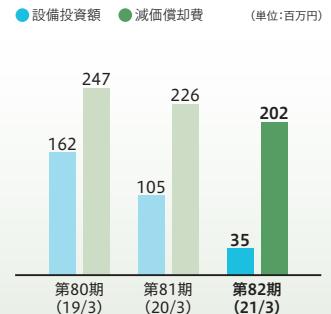
■ 1株当たり純資産額 (BPS)



■ 株主資本利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)



■ 設備投資額/減価償却費



1 国内制御装置関連事業

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開しております。当事業は3部門から構成されており、3部門とも減収となった結果、売上高は6,458百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

(注1)2020年10月1日付の会社組織の一部変更により、デバイスソリューション部門をエンジニアリング部門および機器部門へ統合しました。これに伴い、組織の変更が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、各部門の前年同期比を記載しております。

(注2)セグメント別概況のセグメント別および部門別の営業利益は連結調整前の数値であります。



エンジニアリング部門

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、搬送制御分野が減少したことなどにより、売上高は2,558百万円(前年同期比13.9%減)となりました。



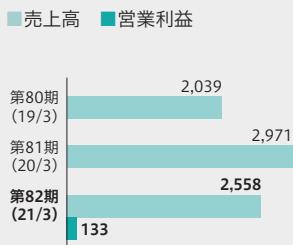
主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー (IPR)
- 宛名紙印刷搭載機



宛名紙印刷搭載機

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



執行役員
エンジニアリング事業部長

渡會 幸宏



昨年の組織変更により、当部門に開発部ができました。既存製品のブラッシュアップに加え、新製品の開発に弾みがつきます。この数年、搬送制御分野と配電盤分野が好調であったため、客先が固定化し、新規のお客様への取り組みが弱かったと反省しています。お客様のニーズやウォンツを的確に捉え、営業・開発・製造が一体となって客先の情報収集に努め、情報共有を進めます。人財育成では、テーマを決めて定期的な勉強会を行っています。

機器部門

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、エレベータセンサの需要が縮小したことなどにより、売上高は1,953百万円(前年同期比15.7%減)となりました。

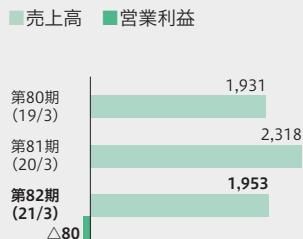
主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器



空間光伝送装置

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



売上高

1,953百万円
→ 前年同期比 15.7%減

執行役員
機器事業部長

水野 和貴



高いシェアを維持してきたセンサ分野は、この数年価格競争で劣勢に立たされています。

競争力の確保に向け、マルチビームセンサ、着床センサなどに力を入れています。新製品を投入した空間光伝送装置では長距離化・高速化をさらに加速します。電力調整器などモデルチェンジが必要な製品も多く、中期経営計画の課題としています。マーケティング室と連携し、市場のニーズに沿った非接触パネルの開発を急いでいます。

変圧器部門

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、データセンター向けやメンテナンスサービス関連の需要後退などにより、売上高は1,946百万円(前年同期比23.9%減)となりました。

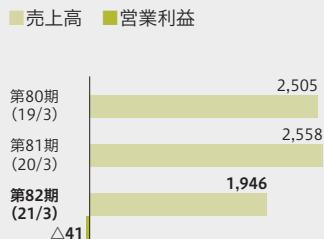
主要製品

- 乾式変圧器
- モールド変圧器
- 耐雷変圧器
- 始動リアクトル



乾式変圧器
TKH IIIシリーズ

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



売上高

1,946百万円
→ 前年同期比 23.9%減

取締役 常務執行役員
変圧器事業部長

井澤 宏



国内3部門の中で最も伝統ある部門です。ただ、変圧器という製品の特性もあって、新機軸を打ち出すのに苦心してきました。今後は固定観念にとらわれることなく、グループ内にある盤の技術、板金加工の技術を取り入れながら、他社との差別化を図ります。この春、大掛かりな人事異動も行い、心機一転、新たな技術の深掘りを前提に他部門との交流も始めました。幅広い視点で事業を俯瞰できる人材を育成します。

2 海外制御装置関連事業

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は中国国内向け盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Electric Co.,Ltd.は南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。

当事業は、南京華洋電気有限公司における盤事業で中国国内の日系企業向け需要が堅調であったことに加え、ローカル企業向けも増加したことなどにより、売上高は603百万円(前年同期比18.9%増)となりました。

売上高

603 百万円

→ 前年同期比 18.9%増

構成比
7.8%



南京華洋電気有限公司



Thai Toyo Electric Co., Ltd.

南京華洋電気有限公司
総経理

大畑 秀幸



2020年度の売上高については、盤事業は日系企業向け制御盤の大型案件があり、伸張しました。電子事業はエレベータ用マルチビームセンサにおいて、新規開発製品を投入したものの既存製品の受注減を補うまでには至らず微減となりました。全体としては、盤事業の売上が寄与したことにより増収となりました。今年度は半導体や環境関連設備、自動化設備向け配電・制御盤、光伝送装置他の受注活動および原価低減活動の推進により収益確保に努めて参ります。

主要製品

- 盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)
 - ・ 高圧受配電盤
 - ・ コントロールセンサ
 - ・ PLC応用制御盤



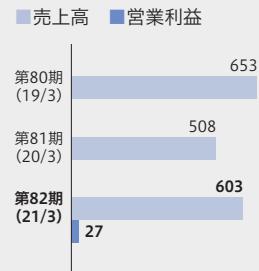
エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」



- エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co., Ltd.)
 - ・ マルチビームセンサ
 - ・ かご位置確認用センサ

C型コントロールセンサ

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



Thai Toyo Electric Co., Ltd.
代表取締役 社長

加藤 慎吾



2020年度は、コロナ禍による先行き不透明感に伴い、国内外のエレベータ市場が縮小し、売上高は微減となりましたが、原価低減と経費圧縮により増益を確保することができました。

今後も、製品の価格競争による低価格化や新型コロナウイルスの長期化など厳しい環境下ではありますが、積極的に生産品目の追加を行い、原価低減活動の推進、タイブランチを活用した製品の拡販活動、新製品の創出を行って参ります。

3 樹脂関連事業

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、自動車部品関連の需要が減少したことなどにより、売上高は703百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

売上高

703 百万円
→ 前年同期比 13.1%減

構成比
9.0%

主要製品

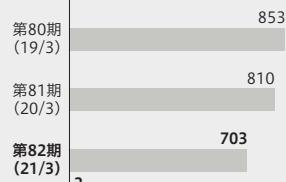
- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



樹脂ペレット

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益



東洋樹脂株式会社
代表取締役 社長

松尾 太起



当社はリサイクル事業(リサイクル原料を使用した自社製品の製造・販売および再生委託加工)、コンパウンド事業(委託加工)、冷凍粉碎事業(樹脂パウダー加工)の3事業がメインとなります。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時は大きく落ち込みましたが、自動車生産が回復した事により当社への依頼量が増加。最終的に売上は減少しましたが利益は前年度並みとなりました。今期は社内環境整備に注力し、また多種多様な樹脂への取り組みや非自動車産業への展開を進めて参ります。

トピックス

東洋電機SDGs7つの取り組み

～ 私たち東洋電機グループは、SDGsを経営戦略につなげ、社会課題の解決を図ることで、持続可能な社会の実現に貢献します。～



- 営業利益率6%を達成するための製品拡販、原価改善活動
- チームによる業務の相互扶助が可能な職場の実現
- パートナー企業との関係強化・新規発掘



- 気持ちのいい挨拶を通してコミュニケーションを活性化し、心の健康を確保する
- ワークライフバランスを推進し、生活の充実感を獲得する



- 環境負荷物質含有製品の生産終息と代替製品の開発
- リサイクルしやすい原材料の使用



- 新製品・新サービスの提案
- 技術の見える化に拘る



- 省人化・自動化・生産性向上に向けた製品・システム提案
- より安全安心な製品の開発
- リニューアル、インフラ改善、防災に合わせた省エネ、安全性提案



- 環境モニタリングシステム、予兆保全の新製品・サービスの提案
- 再生可能エネルギー、省エネ市場への拡販
- 環境配慮型製品の市場への投入

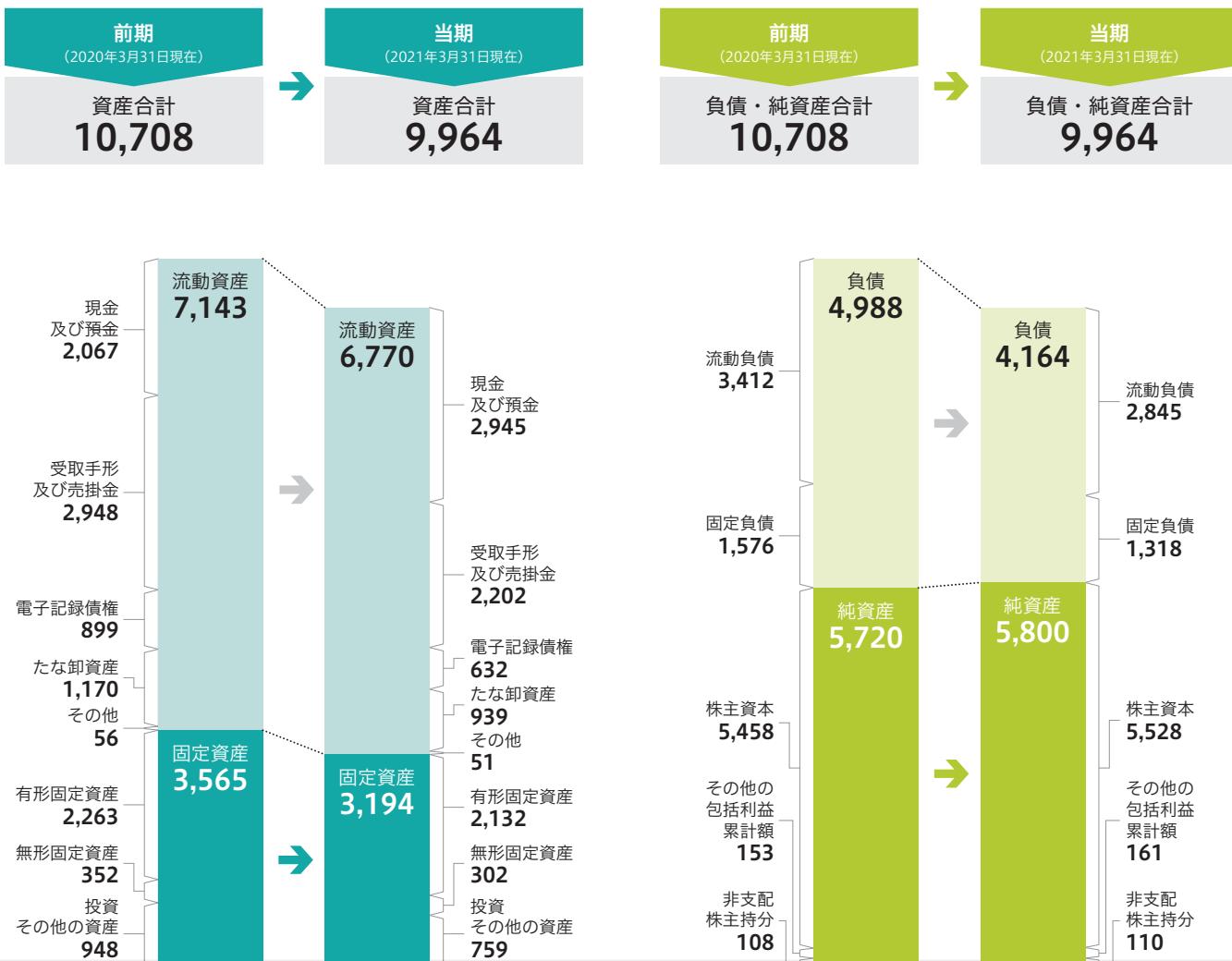


- 技術継承と後継者育成
- 技術の見える化、ローテーションによる技術・技能継承
- 人材育成に本気で取り組む体制を作る

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

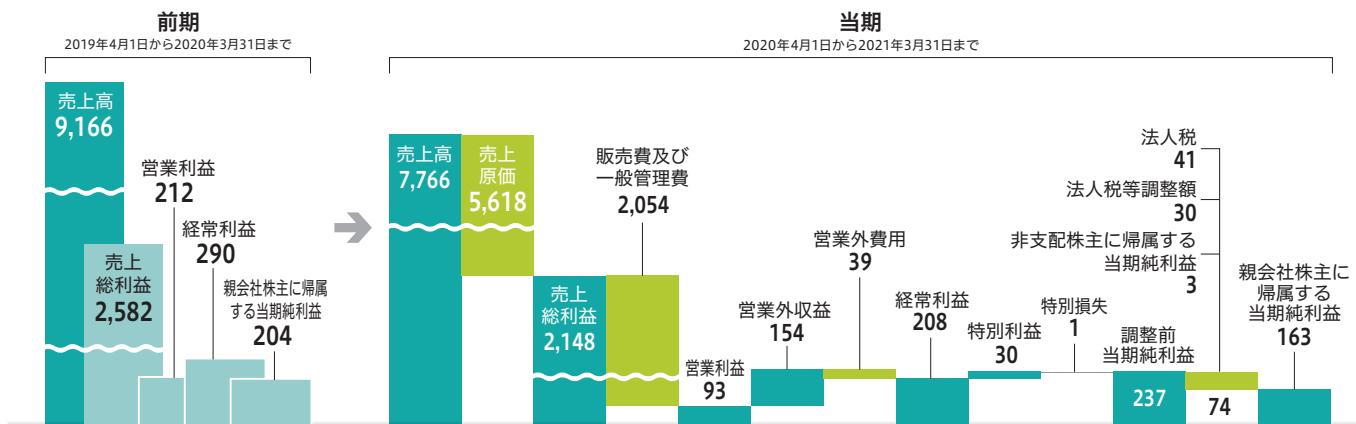


Point

総資産は、受取手形及び売掛金などが減少したことなどにより前期末比744百万円減少し、負債は支払手形及び買掛金ならびに短期借入金などが減少したことなどにより前期末比824百万円減少しました。なお、純資産は利益剰余金が増加したことなどにより前期末比80百万円増加しました。

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

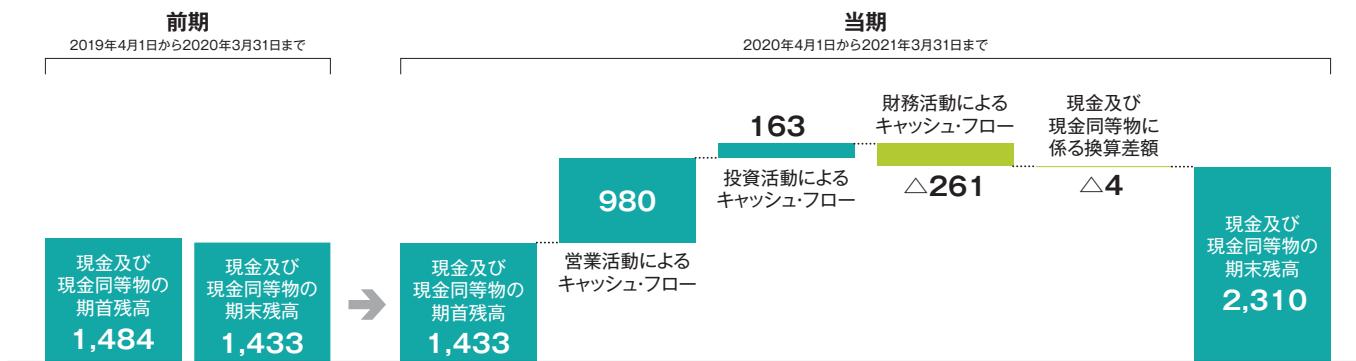


Point

当期は、リモート営業やリモートワークの環境を整え、直接面談ができないケースでも営業活動・事業活動ができるように努めてまいりましたが、機会損失も多く全般的には売上は大きく減少となりました。売上高は国内制御装置関連事業では3部門とも減収となり、前連結会計年度比15.3%減収となりました。利益面では、4部門から3部門体制への統合に伴う合理化や経費削減に努めましたが、減収に伴う減益を補うことはできず、営業利益、経常利益ともに減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は163百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



Point

当期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ877百万円増加し、2,310百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は売上債権やたな卸資産の減少などにより980百万円となりました。投資活動の結果獲得した資金は、役員退職に伴う保険積立金の払戻による収入などにより163百万円となりました。財務活動の結果使用した資金は、長期および短期借入金の返済の支出などにより261百万円となりました。

一人ひとりの 働く喜びを お客様や社会の 喜びにつなごう



SDGs 推進室
課長

あ そ う ゆたか
麻生 裕

負けず嫌いなスポーツ大好き人間

東洋電機には中途入社しました。実は前職を退職したあと、得意分野を活かしたいとフリーランスで機器設計や技術コンサルタントをしていたのですが、東洋電機からの仕事の比率が高まり、そのご縁で入社することとなりました。

趣味はボウリングです。社会人になってまもなく、職場の友人に誘われて始めたのですがビリケットでした。悔しくて猛練習をし、市の大会で優勝したこともあります。最近ゴルフも始めました。ゴルフは小学4年生でコースデビューし、学生時代もゴルフ部に所属していましたが、腰を痛めてからずっと休んでいました。ゴルフをやっていたと知った同僚からの誘いがあり、健康のためだと思って再開しました。

東洋電機では機器事業部をスタートに、いくつもの部署を経験し、この4月から新設されたSDGs(持続可能な開発目標)推進室の課長となりました。

地球の課題は東洋電機の課題

SDGsを知ったのは、社内で開かれた会議が初めてでした。SDGsは、2030年のゴールに向けて、地球で暮らす私たちが抱える17の課題にみんなで行き届くというもの。東洋電機の課題でもあると、すんなり理解しました。その後、社長から「社員に浸透させたい」という話がありました。

今年度は、「SDGsに取り組む」をテーマに、社員の行動とSDGsの目標を結びつけることから始めます。SDGsに結びつく行動が自然にできるよう、社内の環境づくりを急ぎます。

一人ひとりが自分事として関わる

経営トップ自らが呼びかけ、社内で幾度も会議が開かれたこともあり、一通りの理解は進んでいますが、理解度となると一様ではありません。

ちなみに、SDGsの17の目標と社員一人ひとりの関心がどのように結びついているのか、アンケートを取りました。その結果、1番が「働

きがいも経済成長も」の33%、2番が「すべての人に健康と福祉を」の12%、3番が「つくる責任、使う責任」の9%となっています。そのあと、「産業と技術革新の基盤をつくろう」「住み続けられるまちづくり」「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」が続きます。

まずは社員一人ひとりがSDGsを自分事としてとらえ、どこまで意識して取り組めるかが課題です。

当社は、今年から中期経営計画とからめる形で、SDGsを経営ビジョンに加えました。社内の活動の進捗と社外へのアピールを兼ね、そうした取り組みについてもホームページで開示していく計画です。

当社が世に送り出している製品にSDGsの心がただちに反映できるかどうか分かりませんが、本年から各部門でも年に2つ以上の新製品を出そうとしています。そうした製品づくりにも、SDGsの目標やテーマが反映されていくことになるでしょう。

会社の概況

(2021年3月31日現在)

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)
	東洋電機ファシリティーサービス株式会社(愛知県春日井市)
	東洋板金製造株式会社(愛知県春日井市)
	南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市)
Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリー県)	
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	222名(連結438名)

会社の概況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式447,682株を含む)
株主数	1,804名

大株主

(2021年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	430千株	10.13%
東洋電機取引先持株会	325千株	7.65%
東洋電機従業員持株会	234千株	5.52%
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.47%
株式会社百五銀行	195千株	4.59%
松尾隆徳	173千株	4.07%
トーヨーテクノ株式会社	144千株	3.41%
松尾昇光	133千株	3.13%
第一生命保険株式会社	125千株	2.94%
日本生命保険相互会社	125千株	2.94%

(注)持株比率については、自己株式(447,682株)を控除して算出しております。

役員

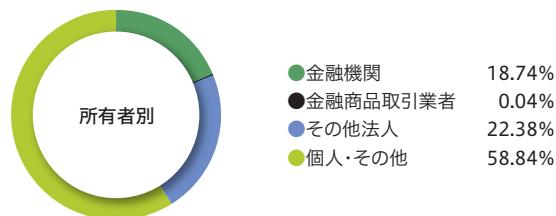
(2021年6月23日現在)

代表取締役 社長執行役員	松尾昇光
取締役 常務執行役員	井澤宏
取締役 常務執行役員	加賀美孝
取締役(監査等委員)	加藤茂男
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩
取締役(監査等委員)	井上誠

(注)取締役 葛谷昌浩氏および井上誠氏は、社外取締役であります。

株式分布状況

(2021年3月31日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711(無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部(コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	http://www.toyo-elec.co.jp/

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<http://www.toyo-elec.co.jp/> 東洋電機 検索

お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

